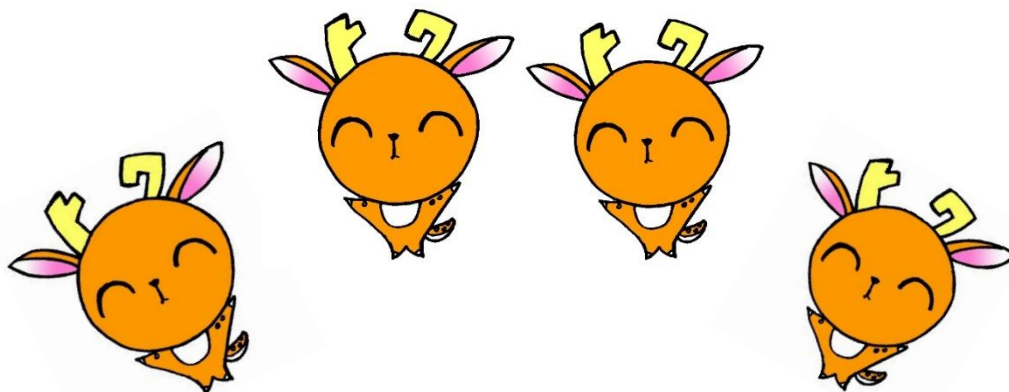


作成、共有、活用する

「個別の指導計画」

—子供から学び、協働して取組む力の育成を目指して—

児童生徒の「なりたい自分になるために」を支え、
チャレンジをつなぎ、豊かな生活に広げる



令和4年度

香川県教育委員会

通常の学級の児童生徒用！スムーズに作成、共有、活用！

「個別の指導計画」

小学校、中学校、高等学校の経験の浅い学級担任、教科指導の担当教員、通級による指導新任担当教員が通常の学級において見つけた、児童生徒の学習上、生活上の困難さを軽減し、一人一人の児童生徒が“なりたい自分”にアプローチするための「個別の指導計画」の様式例、情報共有の方法や活用事例について紹介します。

「個別の指導計画」様式（香川県教育委員会 HP 等に掲載）の一部を紹介します。

誰が見ても分かる、誰でも書きやすい様式になっています。

(1) 学期の取り組み				
	指導目標(短期目標)	具体的手立て	評価(◎ ○ △)	来学期の指導の方向性
学習面／生活・行動面 社会性・対人関係	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等の文章を、行を飛ばさずに読む。 自分で持ち物の片付けをする。 勝ち負けにこだわらず、ルールを守って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすくするために、文字を24ポイントに拡大したプリントを使って読むようにする。(合意形成) 物の名称と片付ける順番を示したチェックリストを活用する。 友達と事前にルールを話し合ってから遊ぶようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 文字を拡大することで行をとばさず読めるようになった。しかし、読めない漢字をとばしてしまう。 ○ 確認しながら片付けができるようになってきて忘れ物が減ってきた。 △ ルールは理解できてきたが、不利になるとルールを変えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字にルビをふったプリントで読む練習をする。定期考査でもルビをふったプリントを使用する。 定着するまで、この方法を継続し、様子を見る。 話し合ったルールを提示し、いつでも自分で確認できるようにする。

(2) 学期の取り組み				
	指導目標(短期目標)	具体的手立て	評価(◎ ○ △)	来学期の指導の方向性
学習面／生活・行動面 社会性・対人関係	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等の文字を読む際に、漢字をとばさずに読む。 自分で持ち物の片付けをする。 勝ち負けにこだわらず、ルールを守って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字にルビをふったプリントを用意して、読む練習をする。(合意形成) 1学期に引き続きチェックリストを使用し、自分だけで準備した物をチェック欄に印をつけるようにする。 	<p>現時点の評価を生かし、次の指導目標を設定</p>	

具体的な内容を端的に設定することで評価の有効性が増す

※継続・活用しやすいようにアレンジが可能です。

指導目標（短期目標）の効果的な設定の仕方をご紹介します。

聞き取りや観察による実態把握が必要です。児童生徒の得意なこと、強みを見つける視点を大切に「チームとしての学校」体制で、多面的・多角的に実態を把握します。

※児童生徒本人が目標を自覚し、主体的に目標達成に向けたスモールステップでの実践を助ける「**チャレンジシート**」の活用が有効です。

チャレンジシート

こんな自分になりたいな！

そのためにチャレンジすること

[チャレンジ週間] よくできた◎ ふつう○ できなかった△

月日	曜日	ふ	り	返	り	◎○△
9 /	月					
9 /	火					
9 /	水					
9 /	木					
9 /	金					

自分の感想

担任コメント

おうちの人コメント

()
コメント

**「目標」「評価」「感想」
等が書き込める**

**1週間程度のスモール
ステップで実施**

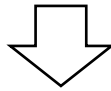
**本人、担任、保護者、
関係者で確認・共有・評価**

※児童生徒の「なりたい自分になるために」を支える、目標の設定・評価を行い、必要に応じて目標の見直しをします。

具体的手立ての実践的で実践可能な設定の仕方をご紹介します。

児童生徒の学習上、生活上の困難さを分析し手軽に記入できる「分析カード」の作成をおすすめします。

「分析カード」



<表>

「What：何に」
「How：どのように」
「Why：なぜ」
を分析


What	何が(に)	ルールを守って遊べない
How	どのように	自分有利にルールを変える
Why	なぜ	ルールを友達と共有できない

<裏>

・箇条書き
・絵やシンボル
簡潔に記入

ルールを紙に書いて提示(ルールの視覚化)

1 ボールは 2 個
2 挟み撃ちなし
3 時間は 10 分間 タイマーは日直がセット



※「分析カード」の内容を、「個別の指導計画」の具体的手立てに反映します。

	指 導 目 標 (短期目標)	具 体 的 手 立 て
学習面 / 社会性・生活・対人関係 / 行動面	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等の文章を読む前に、漢字をとばさずに読む。 自分で持ち物の準備をする。 勝ち負けにこだわらず、ルールを守って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字にルビをふったプリントを用意して、読む練習をする。(合意形成) 1学期に引き続きチェックリストを使用し、自分だけで準備した物をチェック欄に印をつけるようにする。 ルールを可視化 休み時間の前に紙に書いて確認。 守れた時は即時評価し、成功体験を増やす。

※指導目標や具体的手立てを、校内の教職員間、保護者、関係機関関係者等と共有しましょう。

作成、共有、活用できる様式等は、
香川県教育委員会事務局特別支援教育課 HP をチェック！